

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 川口市民センター
 日時 令和7年(2025年)11月2日(日)
 13時30分～14時50分
 発言者 4名 参加者 35名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
1	<p>要因は様々だと思うが、町会・自治会への加入率が低い。そのような中、市の職員が町会・自治会に加入していない状況があり、問題だと思う。 6割の職員が市内に在住しており、災害時は心強い。普段の活動時にも様々な形で町会を理解をしてくれる職員がいれば、連帯感も生まれると思う。</p>	<p>職員が町会・自治会に加入していない認識を今、強く持った。地方自治の仕事をするものとして、町会・自治会の活動を知らなければ仕事ができないと思っている。義務的ということではなく、地方自治に携わるものとして地域を知ろうと思えば自然に加入するという認識だったが、市の実態はそうではないと深く認識した。 いただいた内容は、市の中で共有する。</p>
2	<p>米の値段の高止まりが問題になっている。都内のある区で独自に、1世帯4,400円、お子さんがいらっしゃる世帯は8,800円のお米券を配布するというニュースを聞いた。 米の高騰など、市民が身近で困っていることに対して市は何か対策を練っているのか。 全市民が潤うようなことを1回くらい、八王子市で実施してくれてもいいのではないか。</p>	<p>物価高騰は、切実な問題であると思っている。 食材費が上がった時に、学校給食を無償化したメリットとして、保護者の負担を求めず市が補てんし、質を下げることはなかった。 市として、全ての市民が恩恵を受けることはできていないが、子育て世帯を対象に、それぞれの世帯が必要なものを購入できるよう、八王子市内だけで使える電子マネー「桑都ペイ」を活用し、5,000円分の支援を行った。 今日、全ての市民に、ということを非常に重く受けとめた。 この先、国や東京都との連携をしっかりと取りながら、国や東京都の動きに市が遅れることなく、対策を講じていきたいと思う。</p>
3	<p>市民の間では、職員や議員の公費の使い方に対して不信感が広がっている。こうしたことは、特に若い世代の政治への諦めや低い投票率につながっていると感じる。議員の報酬も見直すべきではないか。市政に対する信頼を取り戻すためには、市長が明確なコミットメントを示すことが大切だと思う。市長はこうした不正の再発防止と若者の政治参加を進めるためにどのような対策をいつまでに進める考えか。 これからのまちづくりは、高齢者の方が安心して暮らせる環境を整えると同時に、若い世代や子育て世帯が、八王子を支えたいと思えるような環境づくりも大切だと思う。 また、若者の自殺やドラッグなど、深刻な問題も増えていると感じる。市として相談や支援につながる体制をどのように強化していく考えか。 少しでも、政治に若者も参加してるぞという証をつくれたらと思いい、意見させていただいた。</p>	<p>職員の不正に関して明確に申したことは、八王子市役所の慣例慣行、伝統文化が不正の温床になるものは否定し根絶すること、職員の処分を10月中に行うと伝え、実施したこと。そして、不正を正すための第三者による検証を行うための会議を11月中に立ち上げる。もう一つ、全職員に対して研修を行うと約束したこと。すでにコミットしたものの1つとして、10月1日に採用した職員の研修を私自身が行った。 また、若い方々にどう伝えるかは課題だと思っている。私が大学へ行って、講師として授業を行うこともある。政治についても意見交換をしている。市長と話がしたいということであれば何うので、そういう機会を活用してほしい。 そして、高齢化が進む中で必要な行政サービスを続けていくために、市内の事業所を訪問して、事業者の成長のお手伝いをさせていただいている。法人税をいただくことで、必要なサービスを続けられる。市外からも八王子市に来ていただけるよう、取り組んでいる。 若者の自殺防止対策については、スマホを使ったAIの相談を始めた。とにかく誰かと話ができる、決して1人にはしない、AIと対話をする中で最終的に市の機関、人につながるように、スマホを活用したつながりを提供している。</p>
4	<p>30年ぶりに八王子へ帰ってきた。代替わりがあり、一人暮らしの方が増えている印象をもった。 これからは、高齢者の一人住まいがかなり増えると思う。私も妹も一人世帯なので、今後を考えると一人で亡くなる方が増えると思う。他の団体でも死後のことについてのサポート体制などが進んでると聞いたのだが、八王子市でそのような取組がどれくらい進んでいるのか聞かせてほしい。 また、職員の交通費不正受給について、前に比べ西八王子駅から市役所までの交通の便が良くなったことが油断を誘ってしまったのかなと思った。仕組みとして何か防止する形を作っていただければいいと思った。</p>	<p>一人暮らしが増えて、「孤独死」ということがある。例えば遺品整理といったことを考えられるかもしれないが、現在、市ではそこまで対応できていない。 その前段階のところで、一人にさせないということで、ご高齢の方々が決して引きこもりにならない、あるいはその地域とつながる、誰かとつながるためのプログラムを用意したり、いつまでも健康で過ごしていただくためのサポートをさせていただいている。 また、見守り事業を実施している。確認してほしい。 今日こういったお声をいただいたので、しっかり記録に残させていただき、求められていることを市の中で共有する。</p>

市民と市長のふれあいトーク(地域開催) 開催概要

会場 川口市民センター

日時 令和7年(2025年)11月2日(日)
13時30分~14時50分

発言者 4名 参加者 35名

No	参加者発言要旨	市長発言要旨
5	<p>【No.3の参加者の再発言】 学生時代に市長と触れ合うことは、とてもいいと思う。 市長選の年齢別の投票率を見ても、20代30代が本当に少ない。分からないことが多いので、独身の20代30代のこれからを支えていく人たちにたくさんのことを教えて欲しい。 何をするにも高齢者やパパママ世代のことばかり話題に上がり、独身5の20代30代は必要ないのかなと感じるが、そういったことについてどう思ってるのかと疑問に思った。</p>	<p>若者世代のお話があったが、市民と市長のふれあいトークの場として、20代30代の方たちに声をかけていただいた。地域での活動や、20代30代のがんばりを市長に分かってほしい、親はいつも自分たちを否定して、認められず悔しいから市長、話を聞いて欲しい、認めてほしいということで呼ばれて、行った。皆さんのがんばりが分かったので、その後、イベントに参加させてもらった。 それから、学生への授業について先ほど話したが、学生が聞きたいテーマに合わせて、いくつかの大学へ行ってお話しさせていただいている。授業の中で「八王子市内で働いてください」と、この一言を言わせてもらうことを条件に無償で行っている。政治に限らず聞きたいテーマがあれば、声をかけていただければ伺う。</p>